

# 効果的 率 的 な 財 政 運 営 に 努 め ま し た に

## 一般会計 約15億円の 黒字に

一般会計は福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。平成25年度

は、歳入から歳出を差し引いた18億851万8千円から、平成26年度に繰り越した事業の財源となった3億2千177万9千円を除いた、14億8千673万9千円（前年度比12.8%増）の黒字になりました。

歳入では、企業収益の大幅な改善による法人市民税の増加で、市税が約9億8千万円増えましたが、それに伴い、地方交付税が約17億6千万円減りました。

歳出では、子ども福祉医療基金を創設したことにより民生費が約17億2千万円増えました。また、中通一丁目地区市街地再開発事業の終了により総務費が約49億1千万円減りました。

## 一般会計決算額と歳入・歳出の内訳

●歳入 1,250億7,851万3千円 (前年度比 △54億6,061万7千円)

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
市税	437億413万8千円(34.9%)	9億7,857万2千円
地方交付税	246億115万2千円(19.7%)	△17億6,423万5千円
国庫支出金	180億8,368万4千円(14.5%)	△2億5,352万9千円
市債	104億7,750万円(8.4%)	△28億6,630万円
諸収入	67億8,765万円(5.4%)	1,703万円
県支出金	62億2,555万4千円(5.0%)	△3億864万2千円
地方譲与税・交付金	50億3,401万6千円(4.0%)	5,926万円
その他(繰入金、使用料など)	101億6,481万9千円(8.1%)	△13億2,277万3千円



民生費はおもに福祉関係の手当や補助、保育所の運営費などの経費です

●歳出 1,232億6,999万5千円 (前年度比 △56億4,144万9千円)

### ▼目的別

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
民生費	426億1,047万2千円(34.6%)	17億2,314万9千円
総務費	163億9,998万7千円(13.3%)	△49億1,426万1千円
土木費	153億8,511万1千円(12.5%)	△3億4,204万4千円
公債費	153億5,785万1千円(12.5%)	△4,409万2千円
教育費	117億4,153万1千円(9.5%)	△4,145万7千円
衛生費	82億4,581万4千円(6.7%)	△5億8,098万1千円
その他(災害復旧、消防など)	135億2,922万9千円(10.9%)	△14億4,176万3千円



総務費には、新庁舎建設、南部市民サービスセンターの整備費などが含まれます

### ▼性質別

項目	決算額(構成比)	対前年度増減額
扶助費	277億6,746万3千円(22.5%)	3億1,303万4千円
人件費	226億6,372万円(18.4%)	△14億2,823万1千円
物件費・維持補修費	156億4,504万8千円(12.7%)	△18億9,081万5千円
公債費	153億5,785万1千円(12.5%)	△4,409万2千円
補助費等	133億953万2千円(10.8%)	12億1,548万7千円
繰出金	78億8,918万6千円(6.4%)	4億5,396万6千円
投資的経費	76億5,118万7千円(6.2%)	△69億8,418万9千円
その他(積立金など)	129億8,600万8千円(10.5%)	27億2,339万1千円



土木費は、除排雪、都市計画、道路や橋の新設・修繕、公園の維持管理などの経費です

秋田市の決算資料は、財政課ホームページでもご覧いただけます。

財政課 ☎(866)2052

● <http://www.city.akita.akita.jp/city/fn/mn/>



## 指標で見る秋田市の財政

自治体の財政の健全性を示す指標に、秋田市の平成25年度決算を照らしてみました(赤字の数値)。

**前** = 前年度の数値

**類** = 中核市で、おもに人口40万人未満の類似都市(22市)の平均値

### ◆ 財政力指数 0.620

**前** 0.614 **類** 0.715

数値が「1」に近いほど財政力が強く、「1」を超えると財政的に余裕があるといえます。

### ◆ 経常収支比率 89.0%

**前** 89.9% **類** 89.9%

財政構造の弾力性を判断する指標となり、80%を超えると、硬直化(ゆとりがない)傾向にあるといえます。

### ◆ 公債費比率 13.4%

**前** 13.7% **類** 11.8%

公債費(市債の返済経費)の経常一般財源(経常的に入る使い道が自由なお金)に占める割合。10%以下が望ましいとされています。

### ◆ 実質公債費比率 12.4%

**前** 12.7% **類** 9.3%

公債費に充当された一般財源の額が標準財政規模(一般財源の標準規模)に占める割合です。



市債とは、学校や道路などを整備するために国や金融機関などから借りるお金のことです。平成25年度末の市債残高(特別会計含む)は約1,417億円で、前年度から約32億円減少しました。



## 特別会計 約11億円 の黒字に



動物園は特別会計だゾー!

## 特別会計決算

	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)
<b>特別会計</b>	<b>676億3,692万7千円</b>	<b>665億6,644万3千円</b>
土地区画整理会計	21億508万7千円	19億8,796万2千円
市有林会計	1億5,138万8千円	1億2,880万円
市営墓地会計	6,162万5千円	5,506万3千円
中央卸売市場会計	1億179万9千円	8,966万1千円
公設地方卸売市場会計	4億1,430万2千円	4億40万3千円
大森山動物園会計	4億6,030万8千円	4億6,030万7千円
廃棄物発電会計	4億1,687万4千円	4億1,687万3千円
国民健康保険事業会計	333億1,996万7千円	330億7,742万9千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億205万1千円	2,985万2千円
介護保険事業会計	272億8,112万2千円	267億4,113万7千円
後期高齢者医療事業会計	32億2,240万4千円	31億7,895万6千円

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計です。

全体では、平成25年度の歳入決算額から歳出決算額を差し引いた、10億7千48万4千円の黒字となりました。

**特別会計のおもな内容**

- 土地区画整理会計 秋田駅東地区などの整備
- 市有林会計 市有林(約2千畝)の管理
- 市営墓地会計 平和公園・南西・河辺・北部の各墓地を管理
- 廃棄物発電会計 総合環境センターの廃棄物発電で生じた余剰電力を、電気事業者へ売却
- 国民健康保険事業会計 国保税の徴収、保険給付など



企業会計では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面から見た収支を「資本的収支」と表します。

平成25年度は、収入が減ったものの、諸経費などの節減に努め、黒字となりました。平成26年度からは地方独立行政法人へ移行し、効率的な経営に努めています。

## 公営企業会計決算 (市立秋田総合病院)

収益的収支	収入	99億1,058万7千円
	支出	95億1,369万5千円
	差引	3億9,689万2千円
累積欠損金		14億7,167万1千円
資本的収支 (消費税含)	収入	8億5,318万6千円
	支出	11億7,842万2千円
	差引	△3億2,523万6千円
	補てん財源	施設の償却費など 3億2,523万6千円

\*市のもう一つの公営企業である上下水道局の決算は、昨年の広報あきた12月5日号に掲載しています。